



第三者評価受審模擬体験について



受審模擬体験シートの説明

- ①体験シートは、【保育所】、【高齢者福祉サービス】、【障害者福祉サービス】の3種類あります。
皆さんは【障害者福祉サービス】を選んでください。
- ②評価項目の「評価の着眼点」それぞれに対し、自己評価欄にできていれば○印をつけてください。
(○にした根拠も考えておいてください)
- ③評価項目それぞれに「a評価」、「b評価」、「c評価」をつけてください。
- ④体験シート記載が終わったら、評価の着眼点・留意点等の解説をしていきます。

受審模擬体験シートの説明

a 評価

・より良い福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安となる状態

b 評価

・「a 評価」に至らない状況、多くの施設・事業所の状態、「a 評価」に向けた取り組みの余地がある状態

c 評価

・「b 評価」以上の取り組みとなることを期待する状態

- ① 着眼点はすべて○にならないと「a評価」になりません
- ② 着眼点に○が何もなければ「c評価」となります



評価の着眼点・留意点等の解説(15分)



A⑥ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援を行っている。

1. 希望やニーズにより**選択できる**日中活動の**多様化**を図っている

- ① 選択できる:1つのメニューではだめ いくつあればいいの？
- ② 新たな活動、活動内容の**変更**=提供体制の**見直し・改善**
例)コロナで行事中止→with Corona でもできるようにする工夫は？

2. **状況に応じ**…参加するための支援を行っている

- ① 参加**拒否**:自己決定・意思の尊重とのジレンマ→参加を促す
- ② 参加が**継続**できるように支援
例)体調不良で参加できないのか、わがままで参加したくないだけなのか

3. **利用者の意向**にもとづく余暇やレクが適切に提供されている

- ・余暇やレクの希望をどのようにとっているか？アンケートや聞き取り調査
確認事項:その記録は残されているか？
重度の障害、認知症等で意思確認が困難な利用者の意向確認は？

A⑥ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援を行っている。

4. 文化的な生活、レク、余暇、スポーツに関する**情報提供**を行っている

- ・情報提供:ポスターや案内チラシを掲示しておくだけでOK?
→十分とは言えないのでは?
確認事項:施設内の現地視察(利用者に聞き取り)で浸透しているか?

5. 日中活動の情報提供と**必要に応じた利用支援**を行っている

- ・4.の情報提供に加え、必要に応じた利用支援の具体例を聞き取り
例)ガイドヘルパーや福祉タクシーなどの案内・予約の支援をしている
確認事項:その記録はあるか?

6. 日中活動と支援内容等の**検討・見直し**を行っている

- ・嚥下力の低下→常食から細食に食形態の変更(当たり前=最低基準)
例)レストランへの外食行楽:今まで楽しみにしていたのに、いけなくなった
確認事項:細食対応してくれるレストランを探すなどの努力・工夫は?
確認事項:検討した記録(支援会議録)、工夫した実例があるか?

A⑮ 利用者の家族との連携・交流と家族支援を行っている。

1. 家族との連携・交流にあたっては、**利用者の意向を尊重**して対応・・・

- ① 家族関係を適切にアセスメント・個別事情に配慮
- ② どのように意向を尊重していますか？ 事例はありますか？
例) 親族に障害者がいることを知られたくない・DVで居場所を秘匿したい

2. 生活状況等について**定期的に**家族等へ**報告**を行っている

- ① 最低限の報告はやっていないところはない(当たり前＝最低基準)
- ② プラスアルファの内容はあるか？
確認事項: 施設だよりなど現物、送付記録など

3. 利用者の生活や支援について**意見交換する機会**を設けている

例) 「家族との集い」「利用者との生活懇談会」など
確認事項: 開催案内、プログラム、当日配布資料、意見交換した記録、当日の様子を写したスナップ写真等、事業計画に記載があるか等

A⑮ 利用者の家族との連携・交流と家族支援を行っている。

4. 家族からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている

- ① どのように相談に応じてますか？
- ② 助言等、家族支援をした例はありますか？

確認事項：相談日の勤務体制、相談記録、支援記録等

5. 急変時の報告・連絡ルールが**明確**にされ**適切**に行われている

- ① **明確に**：決まっていますだけでは×、文書化（家族内での優先順位も）
- ② **適切に**：文書化された手順書・連絡先一覧表が事務所・ワーカー室等に**わかりやすい場所**に設置され**誰でも使える状況**になっているか？

6. 家族等との連携や家族支援についての**工夫**を行っている

確認事項：家族との連携や家族支援で工夫した事例はありますか？

工夫：何が正解とかはない

基本的な考え方や具体的な取り組みを聞き取り、根拠となる記録を確認

まとめとして…

着眼点や留意点の中に、キーワードがあります。何を指しているのか、どうい
うことを求めているのか、正直わかりにくいものもあります。ただし、これが理
解できていないと正しい自己評価もできないこととなります。

そんな時は、調査者に質問してみてください。きっと丁寧に答えてくれるはず
です。(訪問調査の際に質問攻めになってしまうと時間が無くなってしまうの
でほどほどに願います)

最低基準(やっけていて当たり前)がクリアしているかどうかは指導監査の役割
です。第三者評価は「プラスアルファ」(より優れたサービスの提供をしている
か)の部分の評価します。

着眼点の解釈にも幅があり、ぎりぎりの○もあれば、非常にレベルの高い○も
あります。サービスの質の向上のためには、同じ○でも、より高いレベルの○
を目指してもらいたいと思います。



ご清聴
ありがとうございました。

(福) 天竜厚生会 厚生寮
施設長 鈴木 啓晋